



# 海外赴任者の健康と安全を守る

——2020年度 日外協「海外赴任前セミナー」

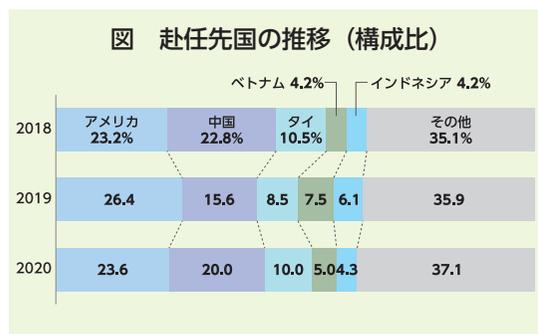
渡航制限下にあっても海外赴任前研修へのニーズは高く、新しいセミナー様式を追求し続けた1年に。

## オンラインで海外からの参加も

2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4月と5月の開催を中止した。集合型では、感染症対策上、定員を絞らざるを得ないこともあり、9月からはオンラインとハイブリットで開催。21年1月からはオンラインのみで開催を継続している。オンライン型のメリットは、設備があればどこからでも参加できることである。参加者からは「地方在住でも参加でき助かった」との声を頂戴している。中には赴任前に研修を受けられなかった方が、海外から参加したケースもあった。集合型では得られない新たな参加者である。

## 中国への赴任が回復の兆し

図はここ3年間の赴任先国の推移(構成比)である。アメリカと中国の2カ国が圧倒的に多い。中国はコロナ感染症が流行し始めた20年1月から赴任者が急減したものの、感染状況が落ち着くにつれ戻りつつある。



## 配偶者や人事担当者も受講

また、3年間の平均で見た参加者の内訳は、

赴任者本人が77%、配偶者が12%、担当者が11%である。ご夫婦での参加や、後から現地合流する配偶者だけが参加するケースもある。

## 異文化、安全、医療を具体事例で

午前「異文化」、午後「安全対策」と「健康・医療」の計3講座で構成し、年10回開催している。

異なる文化や慣習をもつ人々とどうコミュニケーションをとればよいのか、危険から身を守るにはどのような対策を行えばよいのか、予防接種は何を受けたらよいのか、現地で病気になったらどう対処したらよいのか……、ベテランの講師と専門医が具体的な事例をもとに解説する。

## 3,800人を超えた参加者

本セミナーの目的は、ノウハウがないなどの理由から、自前で赴任者向け研修を行うことができない企業を支援すること。そして、赴任者が安全で健康な生活を送る上で必要な基礎的な知識を身につけ、安心して赴任していただくことにある。

98年から開催しており、累計の参加者は3,800人を超える。講座数や開催回数を増やすなどリニューアルしながら現在に至っている。

今後も参加者の声や企業のニーズをもとに改善を重ねていきたい。

日外協 海外安全センター 大竹規子